

「愛知を食べる学校給食の日」に地元農産物2トンを寄贈 市内36小中学校 約18,000人の子どもたちへ

JA西三河は西尾市内36の小中学校へ、給食用の食材として西尾市産の農産物（キュウリ・キャベツ・ハクサイなど7種・総量2,012.2kg）を寄贈します。

1月24日から30日の「愛知を食べる学校給食の日」・「全国学校給食週間」にあわせて行っているもので、JAが西尾市の全小中学校に向けて学校給食用の食材を寄贈するのは2017年、2018年度に続き、今回が3回目。昨年に比べて500*増の約2トンを寄贈します。

各学校では1月17日から28日の間に、JAの寄贈した食材を使って『きゅうりとキャベツの磯香和え』『八杯汁』といった献立が提供されます。地元食材を使った給食を通して、18,233人の子どもたちが地元で生産されている農作物についておいしく学びます。

【取材対応日】

日時：1月17日（金） 12:25～

場所：西尾市立福地南部小学校

（西尾市熱池町古新田42）

【メニューと使用する西尾産食材】

- ・キュウリとキャベツの磯香和え（キュウリ・キャベツ）
- ・八杯汁（豆腐・ハクサイ・ニンジン・ダイコン・ネギ）

※取材へお越しの際には、必ず福地南部小学校の教頭までご連絡ください。

【寄贈する食材リスト】

品名	使用量（*kg）
キュウリ	403.1
キャベツ	427.5
豆腐	316
ハクサイ	404.7
ニンジン	152.5
ダイコン	226.8
ネギ	81.6
計	2012.2

【地元産農産物を利用した学校給食 実施日】

1月17日（金）……福地南部小（マスコミ対応）、寺津小、福地北部小、鶴城中、寺津中、福地中

1月23日（木）……吉良給食センター（吉良地区の6小中学校）

1月24日（金）……花ノ木小、八ツ面小、鶴城小、西野町小、米津小、中畑小、矢田小、
室場小、三和小、西尾中、平坂中、東部中

1月27日（月）……平坂小、佐久島しおさい、一色給食センター（一色地区の5小中学校）

1月28日（火）……西尾小、幡豆給食センター（幡豆地区の3小中学校）

※当日または前日に、JA職員が学校や学校給食センターへ農畜産物を配達する予定です。



【お問い合わせ・ご連絡先】

JA西三河（西三河農業協同組合）

〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15

企画室企画課 広報担当：尾形

TEL：0563-56-5214 担当者携帯：070-1414-6818

HP：https://www.ja-nishimikawa.or.jp/

Eメール：kikaku@ja-nishimikawa.com



※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関あてに発出しています。
また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料（ニュースリリース）」ページにも掲載しています。

JA西三河の食農教育活動

～「農」業体験・おいしい「食」通じて 農業の大切さを伝える～

■JA西三河の食農教育活動

JA西三河では、「食」と「農」に対する理解促進のため、子ども達や親子を対象にした地域ぐるみでの食農教育活動を展開しています。

主活動である「米づくり体験授業」のほか、公募で実施する野菜作り体験「家族食・農体験農場 親子で学ぶ日曜学校」、県域団体のJAあいち経済連等と協力して実施する農業体験「親子で学ぶあいち米 おコメ実らせ隊」などを開催。また、農協内各部会（稲作青年部、きゅうり部会、女性部）も食農体験行事を開催し、地域一体となって「食」と「農」の大切さを伝えています。



JA西三河女性部による「親子農園」では、一年を通して女性部員や営農職員が参加者に野菜作りを指導しています



■米づくり体験授業

「米づくり体験授業」は、JA主体では2009年度（個別の活動としては1983年度）から継続して行っています。子どもだけではなく、小中学校の教育関係者・地域の農家・地域住民・PTAや保護者の参加・協力の輪も広がり、広く市民になじみのある親しみある行事として定着しています。

2019年度は市内18の小学校（5年生、特別支援学級を含む）で、①田植え、②かかしづくり、③稲刈り、④収穫祭を主に行うほか、各小学校では田んぼアートづくり・泥リンピック・観察記録づくり・バケツ稲との比較等、工夫をこらし独自の取組みを展開しています。

毎年度末には食農教育活動に関する意見交換会を開催しています。学校、農業指導者、JA支店の全関係者、東海農政局、愛知県、西尾市の行政機関が一堂に集まり、感想を共有し、次年度への改善、継続に向けて意識の共有を図っています。



① 田植え（5月）

制作したかかしは10月の農業まつりのコスモス畑に集結し、「コスモス祭」を毎年開催しています！



③ 稲刈り（9月）

鎌を使って稲刈りに挑戦！



② かかし作り（7月）



④ 収穫祭（12月）

郷土料理の箱寿司づくりやもちつき体験などを通じて、収穫の喜びを学びます